2026年９月期　決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名	ＯＢＡＲＡ　ＧＲＯＵＰ株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	6877	URL	http://www.obara-g.com/
代　　表　　者	(役職名) 取締役社長	(氏名) 小原　康嗣	
問合せ先責任者	(役職名) 経営企画室長	(氏名) 飯高　成美	(TEL) 046-271-2124
定時株主総会開催予定日	2026年12月18日	配当支払開始予定日	2026年12月21日
有価証券報告書提出予定日	2026年12月21日		

決算補足説明資料作成の有無　　：　有
決算説明会開催の有無　　：　有　(機関投資家・アナリスト向け　)

(百万円未満切捨て)

１．2026年９月期の連結業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	75,028	21.6	13,219	36.3	13,358	31.3	8,806	30.2
2025年９月期	61,682	9.4	9,699	5.5	10,176	3.8	6,762	0.6

(注) 包括利益　　2026年９月期　12,675百万円(　64.8%)　　2025年９月期　7,689百万円(　23.0%)

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年９月期	596.07	524.79	11.4	12.4	17.6
2025年９月期	424.90	378.46	9.1	9.9	15.7

(参考) 持分法投資損益　　2026年９月期　0百万円　　2025年９月期　2百万円

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年９月期	111,819	79,585	71.0	5,511.18
2025年９月期	103,830	74,679	71.8	4,848.27

(参考) 自己資本　　2026年９月期　79,438百万円　　2025年９月期　74,533百万円

（３）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年９月期	11,236	△3,176	△7,630	19,116
2025年９月期	5,110	△18,522	△6,096	18,217

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年９月期	―	60.00	―	90.00	150.00	2,340	35.3	3.2
2026年９月期	―	60.00	―	90.00	150.00	2,162	25.2	2.9
2027年９月期(予想)	―	70.00	―	100.00	170.00		25.9	

３．2027年９月期の連結業績予想（2026年10月１日～2027年９月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	38,500	6.7	6,750	11.9	6,600	6.8	4,450	14.8	308.72
通　期	77,800	3.7	14,200	7.4	14,100	5.6	9,450	7.3	655.61

※　注記事項

（１）期中における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年９月期	20,869,380株	2025年９月期	20,869,380株
②　期末自己株式数	2026年９月期	6,455,393株	2025年９月期	5,496,267株
③　期中平均株式数	2026年９月期	14,773,845株	2025年９月期	15,914,943株

（参考）　個別業績の概要

2026年９月期の個別業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）個別経営成績　　（%表示は対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	5,202	△35.6	4,515	△38.7	4,477	△39.0	4,319	△38.2
2025年９月期	8,081	△1.0	7,368	△2.3	7,337	△3.6	6,984	△1.4

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年９月期	292.36	256.80
2025年９月期	438.85	390.92

（２）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年９月期	39,078	25,776	66.0	1,788.31
2025年９月期	41,221	29,105	70.6	1,893.25

（参考）自己資本　　2026年９月期　25,776百万円　　2025年９月期　29,105百万円

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1.経営成績等の概況（4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当期の経営成績の概況 …… 2
（２）当期の財政状態の概況 …… 3
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… 3
（４）今後の見通し …… 4
（５）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 …… 4
２．企業集団の状況 …… 5
３．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 6
４．連結財務諸表及び主な注記 …… 7
（１）連結貸借対照表 …… 7
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 …… 9
（３）連結株主資本等変動計算書 …… 11
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 …… 12
（５）連結財務諸表に関する注記事項 …… 13
（継続企業の前提に関する注記） …… 13
（セグメント情報等の注記） …… 13
（１株当たり情報） …… 17
（重要な後発事象） …… 18
５．その他 …… 19
（１）生産、受注及び販売の状況 …… 19
（２）地域別販売状況 …… 20

１．経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度末現在において、当社グループが判断したものであります。

（１）当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2025年10月１日～2026年９月30日）における世界経済は、不透明感のある情勢下、一部地域に弱含みが見られたものの、米国が堅調を維持し、欧州に持ち直しの動きが見られるなど、総体的には回復基調となりました。

我が国経済につきましては、個人消費や企業の設備投資に持ち直しが見られるなど、景気に回復の動きが見られました。

このような状況の下、当社グループと深く関わる各業界の概況は次のとおりとなりました。自動車業界につきましては、環境対応車の再定義が行われる中、世界各地域で前向きな設備投資姿勢が継続しました。エレクトロニクス業界では、先端半導体デバイスでの市況回復が見られたことから、設備投資動向に明るさが見られました。また、電力業界では、中長期的視野に立った配電設備の拡充や更新が計画的に行われました。

当社グループは、このような経営環境に対応するため、各市場動向に応じ、設備品及び消耗品の拡販に努め、ローカルニーズに対応した製品投入を進めるとともに、技術革新・次世代装置などの高付加価値製品の開発にも注力してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高750億28百万円(前期比21.6%増)、営業利益132億19百万円(前期比36.3%増)、経常利益133億58百万円(前期比31.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益88億６百万円(前期比30.2%増)となりました。

なお、2024年12月10日に、送配電部品等の製造販売を営む株式会社NSSK-QQ（同日付で、エナジーコンポーネンツホールディングス株式会社に商号変更）を子会社化し、電気機器関連事業に参画しておりますが、みなし取得日を2024年12月31日としているため、前連結会計年度におきましては、当該事業につきまして第２乃至第４四半期累計９ヵ月（2025年１月１日～2025年９月30日）の業績を反映しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、各セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む数値を記載しております。

溶接機器関連事業

溶接機器関連事業につきましては、取引先である自動車業界において、世界各地で堅調な生産活動が行われ、車体組立分野の継続的な設備投資が見られました。

このような環境の下、当部門として設備品及び消耗品の拡販を図ったことなどにより、業績は堅調に推移しました。

この結果、部門売上高は421億89百万円(前期比24.0%増)、部門営業利益は70億61百万円(前期比29.8%増)となりました。

平面研磨装置関連事業

平面研磨装置関連事業につきましては、高度半導体デバイスにおける用途の多様化などを背景とし、取引先であるエレクトロニクス関連素材において、安定的な生産活動や設備投資が続きました。

このような環境の下、当部門として顧客要求に適合した製品の販売促進に努めたことなどにより、業績は堅調に推移しました。

この結果、部門売上高は259億41百万円(前期比13.2%増)、部門営業利益は56億50百万円(前期比34.2%増)となりました。

電気機器関連事業

電気機器関連事業につきましては、取引先である電力業界において、配電設備の拡充や更新が行われ、絶縁機材や固定機材、電線・ケーブルの接続機材などの継続的な資材投資が見られました。

このような環境の下、当部門として顧客要求に適合した製品の販売促進を図ったことなどにより、業績は堅調に推移しました。

この結果、部門売上高は68億97百万円(前年第２乃至第４四半期累計９ヵ月比45.4%増)、部門営業利益は５億46百万円(前年第２乃至第４四半期累計９ヵ月比52.3%増)となりました。

（２）当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

・資産

当連結会計年度末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ、81億17百万円、11.7％増加して、773億61百万円となりました。これは主に、預け金が２億62百万円減少した一方、現金及び預金が40億１百万円、売掛金が12億88百万円、電子記録債権が３億49百万円、棚卸資産が19億53百万円、流動資産のその他が６億87百万円増加したことなどによります。

当連結会計年度末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ、１億28百万円、0.4％減少して、344億58百万円となりました。これは主に、有形固定資産が17億57百万円増加した一方、のれんが４億17百万円、長期預金が短期への振替により15億16百万円減少したことなどによります。

以上により、当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ79億89百万円、7.7％増加して、1,118億19百万円となりました。

・負債

当連結会計年度末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ、25億37百万円、15.1％増加して、193億76百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が83百万円減少した一方、未払法人税等が７億37百万円、契約負債が13億35百万円、賞与引当金が２億60百万円、流動負債のその他が２億59百万円増加したことなどによります。

当連結会計年度末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ、５億46百万円、4.4％増加して、128億58百万円となりました。これは主に、繰延税金負債が５億12百万円増加したことなどによります。

以上により、当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ30億83百万円、10.6％増加して、322億34百万円となりました。

・純資産

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ、49億５百万円、6.6％増加して、795億85百万円となりました。自己株式を55億６百万円取得した一方、親会社株主に帰属する当期純利益を88億６百万円計上したことなどにより利益剰余金が65億57百万円、為替換算調整勘定が37億46百万円増加したことなどによります。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は191億16百万円と、前連結会計年度末に比べ８億98百万円増加しました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

棚卸資産の増加額が10億80百万円、仕入債務の減少額が５億99百万円、法人税等の支払額が33億48百万円となった一方、税金等調整前当期純利益が133億58百万円、減価償却費及びその他の償却費が20億24百万円、契約負債の増加額が11億53百万円発生したことなどにより、差引112億36百万円の資金の増加となり、前連結会計年度に比べ61億26百万円の収入増加となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

定期預金の純増加額が２億43百万円、有形固定資産の取得による支出が26億78百万円発生したことなどにより、31億76百万円の資金の減少となり、前連結会計年度に比べ153億45百万円の支出減少となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

自己株式の取得のための預け金の減少額が２億62百万円となった一方、自己株式の取得による支出が55億６百万円、配当金の支払額が22億47百万円発生したことなどにより、差引76億30百万円の資金の減少となり、前連結会計年度に比べ15億34百万円の支出増加となりました。

（４）今後の見通し

当社グループと深く関わる各業界の予想は次のとおりです。

自動車業界では、市場ニーズに合わせた新型車投入が続くものの、景気状態や国際情勢への懸念などから、車体組立の設備投資動向につきましては、短期間で大きく変動する状況も予想されます。エレクトロニクス業界では、先端半導体デバイスの市場拡大が牽引し、生産活動と設備投資について、回復傾向が続くと予想されます。また、電力業界においては、中長期的視野に立った配電設備の拡充や更新の継続が予想されております。

そのような環境下、当社グループとしましては、業績の向上に鋭意注力すべく、成長市場への経営資源の投入を積極的に推進し、顧客ニーズを満たす製品及びサービスの提供を行ってまいります。また、同時に中長期的かつ持続的な成長を目指す、積極的な設備投資と研究開発を行ってまいります。

この結果、次期の連結業績予想につきましては、売上高778億円（当期比3.7％増）、営業利益142億円（当期比7.4％増）、経常利益141億円（当期比5.6％増）、親会社株主に帰属する当期純利益94億50百万円（当期比7.3％増）を見込んでおります。

なお、為替レートは、１米ドル＝158円を前提としております。

（５）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の利益配分に関する基本方針は、株主に対する利益還元を経営上の重要政策として認識し、業績の状況、グループを取り巻く環境並びに中長期的な財務体質の強化策を勘案して、配当及び機動的な自己株の取得等を通じ、継続的かつ安定的に実施していく方針です。内部留保に関しましては、戦略的かつ機動的な設備投資・研究開発投資が、持続的な事業発展のためには重要と捉えており、適正水準の内部留保の維持が必要と考えております。

当期の利益配分につきましては、１株当たり期末配当金を90円とし、年間配当金を150円（うち第２四半期末配当60円）とさせていただく予定です。

なお、次期の利益配当金につきましては、上記の利益配分に関する基本方針等に基づき、１株当たり配当金170円（うち第２四半期末配当70円）を予定しております。

２．企業集団の状況

当社グループは、当社、子会社30社及び関連会社１社で構成されており、溶接機器関連事業、平面研磨装置関連事業及び電気機器関連事業を主な内容として展開しております。

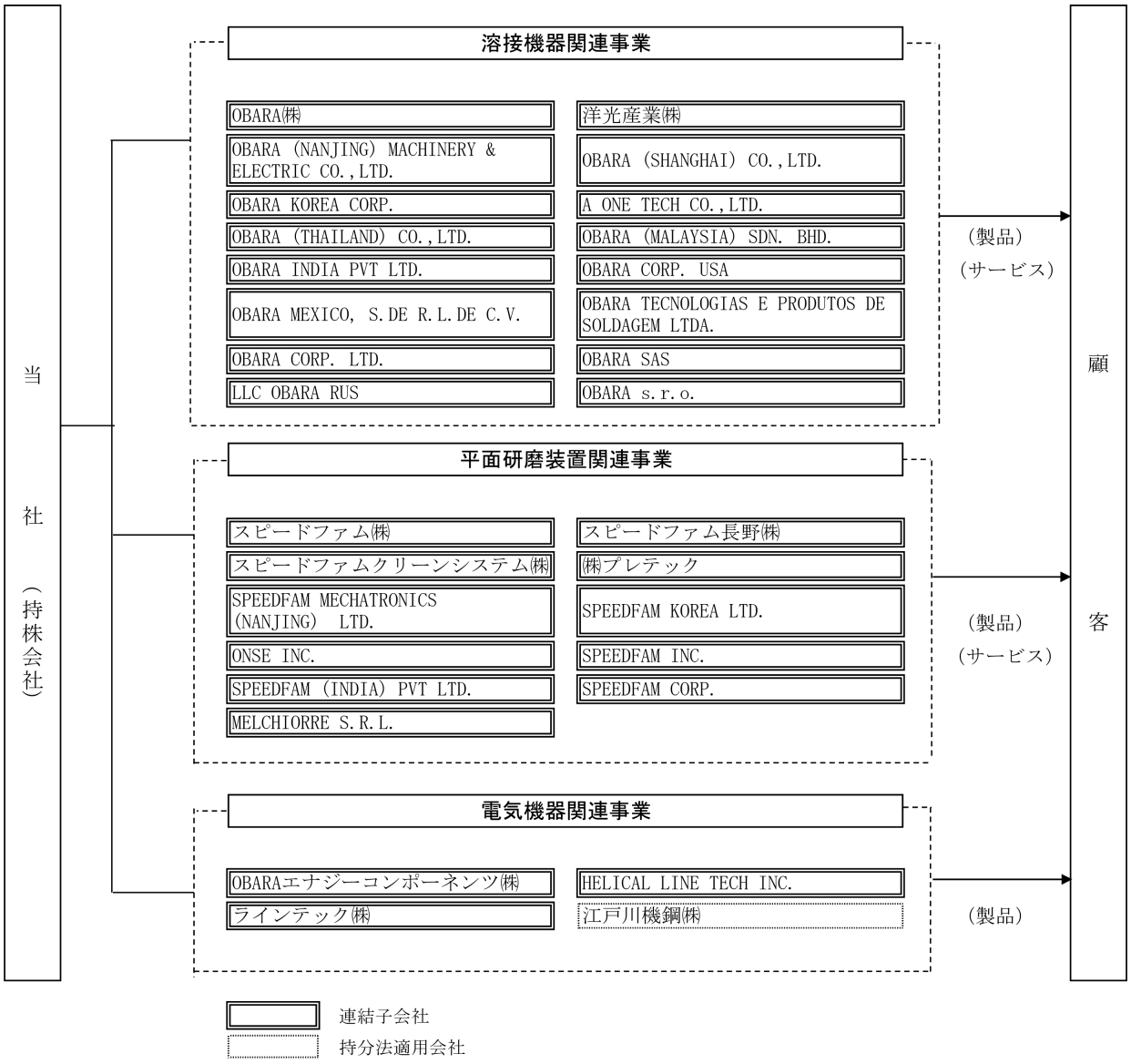
当社グループにおける主な事業内容とグループを構成している各社の当該事業における位置づけ及びセグメントとの関連は、次のとおりであります。

なお、事業区分はセグメント情報の区分と同一の区分であります。

セグメント別の子会社の主要な事業内容及び子会社名

事業区分	内　　容	会　　社　　名
溶接機器関連事業	主に自動車ボディー溶接向けの抵抗溶接機器の製造販売	OBARA㈱ 洋光産業㈱ OBARA (NANJING) MACHINERY & ELECTRIC CO.,LTD. OBARA (SHANGHAI) CO.,LTD. OBARA KOREA CORP. A ONE TECH CO.,LTD. OBARA (THAILAND) CO.,LTD. OBARA (MALAYSIA) SDN. BHD. OBARA INDIA PVT LTD. OBARA CORP. USA OBARA MEXICO, S.DE R.L.DE C.V.
	主に自動車ボディー溶接向けの抵抗溶接機器の販売	OBARA TECNOLOGIAS E PRODUTOS DE SOLDAGEM LTDA. OBARA CORP. LTD. OBARA SAS LLC OBARA RUS OBARA s.r.o.
平面研磨装置関連事業	主にシリコンウェーハ、酸化物水晶基板向けの平面研磨装置及び消耗副資材の製造販売	スピードファム㈱ スピードファム長野㈱ スピードファムクリーンシステム㈱ ㈱プレテック SPEEDFAM MECHATRONICS (NANJING) LTD. ONSE INC. SPEEDFAM INC. SPEEDFAM (INDIA) PVT LTD. MELCHIORRE S.R.L.
	主にシリコンウェーハ、酸化物水晶基板向けの平面研磨装置及び消耗副資材の販売	SPEEDFAM KOREA LTD. SPEEDFAM CORP.
電気機器関連事業	主に電力業界向けの配電機材の製造販売	OBARAエナジーコンポーネンツ㈱ ラインテック㈱ HELICAL LINE TECH INC.
	外注加工	江戸川機鋼㈱

当社グループを事業系統図によって示すと、次のとおりであります。



３．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

４．連結財務諸表及び主な注記

（１）連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年９月30日)	当連結会計年度 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,118	30,119
受取手形	22	5
電子記録債権	3,669	4,019
売掛金	14,389	15,678
有価証券	61	32
商品及び製品	10,629	11,451
仕掛品	7,662	8,658
原材料及び貯蔵品	5,204	5,340
預け金	262	－
その他	1,559	2,247
貸倒引当金	△336	△190
流動資産合計	69,243	77,361
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,161	23,586
減価償却累計額	△8,485	△9,541
建物及び構築物（純額）	10,675	14,044
機械装置及び運搬具	13,740	15,179
減価償却累計額	△11,725	△12,568
機械装置及び運搬具（純額）	2,015	2,611
土地	6,114	6,225
建設仮勘定	3,018	611
その他	4,696	4,993
減価償却累計額	△3,751	△3,960
その他（純額）	944	1,033
有形固定資産合計	22,768	24,525
無形固定資産		
のれん	3,862	3,444
その他	1,898	1,711
無形固定資産合計	5,760	5,156
投資その他の資産		
投資有価証券	1,681	1,838
繰延税金資産	892	917
長期預金	2,923	1,407
その他	564	618
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	6,057	4,776
固定資産合計	34,586	34,458
資産合計	103,830	111,819

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年９月30日)	当連結会計年度 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,634	5,550
1年内返済予定の長期借入金	82	90
未払法人税等	1,366	2,104
契約負債	6,147	7,482
賞与引当金	1,229	1,489
役員賞与引当金	54	74
その他	2,325	2,584
流動負債合計	16,838	19,376
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	7,571	7,542
長期借入金	289	225
繰延税金負債	3,405	3,918
役員退職慰労引当金	43	43
退職給付に係る負債	691	804
資産除去債務	161	132
その他	148	191
固定負債合計	12,311	12,858
負債合計	29,150	32,234
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,925	1,925
利益剰余金	82,205	88,763
自己株式	△19,947	△25,453
株主資本合計	64,183	65,235
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	285	392
為替換算調整勘定	10,063	13,810
その他の包括利益累計額合計	10,349	14,203
非支配株主持分	146	147
純資産合計	74,679	79,585
負債純資産合計	103,830	111,819

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2024年10月１日 至 2025年９月30日）	当連結会計年度 （自 2025年10月１日 至 2026年９月30日）
売上高	61,682	75,028
売上原価	41,327	50,166
売上総利益	20,355	24,862
販売費及び一般管理費	10,655	11,642
営業利益	9,699	13,219
営業外収益		
受取利息	404	341
受取配当金	16	19
為替差益	44	－
補助金収入	60	73
受取地代家賃	39	38
その他	202	89
営業外収益合計	767	562
営業外費用		
支払利息	19	15
自己株式取得費用	124	137
為替差損	－	217
固定資産除却損	83	9
その他	64	42
営業外費用合計	291	423
経常利益	10,176	13,358
特別損失		
減損損失	53	－
特別損失合計	53	－
税金等調整前当期純利益	10,122	13,358
法人税、住民税及び事業税	3,581	4,047
法人税等調整額	△230	490
法人税等合計	3,351	4,537
当期純利益	6,771	8,820
非支配株主に帰属する当期純利益	9	14
親会社株主に帰属する当期純利益	6,762	8,806

連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2024年10月１日 至 2025年９月30日）	当連結会計年度 （自 2025年10月１日 至 2026年９月30日）
当期純利益	6,771	8,820
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	76	107
為替換算調整勘定	841	3,747
その他の包括利益合計	918	3,855
包括利益	7,689	12,675
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	7,677	12,660
非支配株主に係る包括利益	12	15

（３）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年10月１日　至 2025年９月30日)

（単位：百万円）

	株主資本				その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,925	77,884	△15,515	64,294	208	9,225	9,434	71	73,800
当期変動額									
剰余金の配当		△2,441		△2,441					△2,441
親会社株主に帰属する当期純利益		6,762		6,762					6,762
自己株式の取得			△4,431	△4,431					△4,431
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					76	838	914	74	989
当期変動額合計	－	4,320	△4,431	△110	76	838	914	74	878
当期末残高	1,925	82,205	△19,947	64,183	285	10,063	10,349	146	74,679

当連結会計年度(自 2025年10月１日　至 2026年９月30日)

（単位：百万円）

	株主資本				その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,925	82,205	△19,947	64,183	285	10,063	10,349	146	74,679
当期変動額									
剰余金の配当		△2,248		△2,248					△2,248
親会社株主に帰属する当期純利益		8,806		8,806					8,806
自己株式の取得			△5,506	△5,506					△5,506
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					107	3,746	3,854	0	3,854
当期変動額合計	－	6,557	△5,506	1,051	107	3,746	3,854	0	4,905
当期末残高	1,925	88,763	△25,453	65,235	392	13,810	14,203	147	79,585

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2024年10月１日 至 2025年９月30日）	当連結会計年度 （自 2025年10月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	10,122	13,358
減価償却費及びその他の償却費	1,794	2,024
減損損失	53	－
のれん償却額	313	417
貸倒引当金の増減額（△は減少）	3	△181
賞与引当金の増減額（△は減少）	136	210
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	4	20
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	40	97
受取利息及び受取配当金	△420	△361
支払利息	19	15
為替差損益（△は益）	△21	23
自己株式取得費用	124	137
有形固定資産除売却損益（△は益）	32	3
投資有価証券売却損益（△は益）	△6	△1
売上債権の増減額（△は増加）	△1,302	△337
棚卸資産の増減額（△は増加）	△1,971	△1,080
仕入債務の増減額（△は減少）	279	△599
契約負債の増減額（△は減少）	△939	1,153
その他	430	△587
小計	8,693	14,312
利息及び配当金の受取額	399	285
利息の支払額	△21	△13
法人税等の支払額	△3,961	△3,348
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,110	11,236
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額（△は増加）	△3,657	△243
長期預金の預入による支出	△2,275	△0
長期預金の払戻による収入	827	－
有形固定資産の取得による支出	△3,489	△2,678
有形固定資産の売却による収入	93	7
無形固定資産の取得による支出	△114	△117
投資有価証券の取得による支出	△100	△0
投資有価証券の売却による収入	69	2
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△9,735	－
その他	△138	△147
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,522	△3,176
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△82	△84
自己株式の取得による支出	△4,431	△5,506
自己株式の取得のための預け金の増減額(△は増加)	906	262
配当金の支払額	△2,440	△2,247
非支配株主への配当金の支払額	△13	△14
その他	△35	△38
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,096	△7,630
現金及び現金同等物に係る換算差額	323	468
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△19,184	898
現金及び現金同等物の期首残高	37,401	18,217
現金及び現金同等物の期末残高	18,217	19,116

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

１　報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の事業構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主として、自動車業界向けの溶接機器関連事業、エレクトロニクス業界向けの平面研磨装置関連事業及び電力業界向けの電気機器関連事業の３つの事業から構成されており、各事業単位で、日本及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は溶接機器関連事業、平面研磨装置関連事業及び電気機器関連事業の３つを報告セグメントとしております。溶接機器関連事業は自動車業界向けにガン、電極及び関連機器等の製造・販売を行い、平面研磨装置関連事業はエレクトロニクス業界向けにポリッシングマシーン等の製造・販売を行い、電気機器関連事業は電力業界向けに配電機材の製造・販売を行っております。

２　報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、最近の有価証券報告書(2025年12月22日提出)により開示を行った「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益の数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3　報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額(注)１	連結財務諸表計上額(注)２
	溶接機器関連事業	平面研磨装置関連事業	電気機器関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	34,019	22,917	4,745	61,682	―	61,682
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	0	―	0	△0	―
計	34,019	22,917	4,745	61,682	△0	61,682
セグメント利益	5,442	4,210	358	10,011	△311	9,699
セグメント資産	45,266	37,065	13,023	95,354	8,475	103,830
その他の項目						
減価償却費	665	870	252	1,789	4	1,794
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	375	3,053	202	3,631	3	3,634

(注) １　(1)　セグメント利益の調整額△311百万円には、セグメント間取引消去△０百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△311百万円が含まれております。

(2)　セグメント資産のうち調整額の項目に含めた金額は全て全社資産です。

２　セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３　電気機器関連事業は、みなし取得日を2024年12月31日としているため、当連結会計年度において、第２乃至第４四半期累計９ヵ月（2025年１月１日～2025年９月30日）の業績を反映しております。

当連結会計年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額(注)１	連結財務諸表計上額(注)２
	溶接機器関連事業	平面研磨装置関連事業	電気機器関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,189	25,941	6,897	75,028	―	75,028
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	0	―	0	△0	―
計	42,189	25,941	6,897	75,029	△0	75,028
セグメント利益	7,061	5,650	546	13,258	△38	13,219
セグメント資産	52,186	41,003	12,911	106,101	5,718	111,819
その他の項目						
減価償却費	702	974	344	2,020	4	2,024
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	520	2,238	177	2,937	5	2,943

(注) １　(1)　セグメント利益の調整額△38百万円には、セグメント間取引消去△０百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△38百万円が含まれております。

(2)　セグメント資産のうち調整額の項目に含めた金額は全て全社資産です。

２　セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

１　製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

２　地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	韓国	アジア パシフィック	米州	その他	合計
20,104	16,119	5,335	11,428	6,266	2,428	61,682

(注)　売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	中国	韓国	アジア パシフィック	米州	その他	合計
14,311	2,095	2,138	3,142	723	357	22,768

３　主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10％以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

１　製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

２　地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	韓国	アジア パシフィック	米州	その他	合計
23,680	20,554	6,784	14,087	7,145	2,776	75,028

(注)　売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	中国	韓国	アジア パシフィック	米州	その他	合計
15,530	2,183	2,350	3,265	819	376	24,525

３　主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10％以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	溶接機器関連事業	平面研磨装置関連事業	電気機器関連事業	計		
減損損失	―	9	43	53	―	53

当連結会計年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	溶接機器関連事業	平面研磨装置関連事業	電気機器関連事業	計		
当期償却額	―	―	313	313	―	313
当期末残高	―	―	3,862	3,862	―	3,862

当連結会計年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	溶接機器関連事業	平面研磨装置関連事業	電気機器関連事業	計		
当期償却額	―	―	417	417	―	417
当期末残高	―	―	3,444	3,444	―	3,444

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

（１株当たり情報）

	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
１株当たり純資産額	4,848円27銭	5,511円18銭
１株当たり当期純利益	424円90銭	596円07銭
潜在株式調整後１株当たり当期純利益	378円46銭	524円79銭

（注）１　１株当たり当期純利益及び潜在株式調整後１株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当連結会計年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
１株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	6,762	8,806
普通株主に帰属しない金額（百万円）	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	6,762	8,806
普通株式の期中平均株式数（株）	15,914,943	14,773,845
潜在株式調整後１株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	△19	△19
（うち受取利息(税額相当額控除後)(百万円)）	(△19)	(△19)
普通株式増加数(株)	1,901,285	1,969,175
（うち転換社債型新株予約権付社債(株)）	(1,901,285)	(1,969,175)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後１株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	―	

２　１株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2025年９月30日)	当連結会計年度 (2026年９月30日)
純資産の部の合計額(百万円)	74,679	79,585
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	146	147
（うち非支配株主持分(百万円)）	(146)	(147)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	74,533	79,438
１株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	15,373,113	14,413,987

(重要な後発事象)

(2028年満期ユーロ円建取得条項付転換社債型新株予約権付社債の取得及び消却)

当社は、2026年10月１日付の取締役会において、当社が2024年４月18日に発行した2028年満期ユーロ円建取得条項付転換社債型新株予約権付社債（以下「本新株予約権付社債」という）について、取得条項（額面現金決済型）を行使し、額面金額相当の現金及び下記のとおり算出される一定数の株式等の交付と引き換えに、残存する本新株予約権付社債の全部を取得すること並びに取得した当該新株予約権付社債を消却することを決議いたしました。

取得に関する事項の内容

(1) 取得する銘柄

OBARA GROUP株式会社2028年満期ユーロ円建取得条項付転換社債型新株予約権付社債

(2) 取得対象

取得期日現在残存する本新株予約権付社債の全部（額面75億円）

(3) 新株予約権付社債権者への通知日

2026年10月１日

(4) 取得期日

2026年12月９日

(5) 交付する財産

(i) 本社債の額面金額相当額の金銭、及び

(ⅱ) 転換価値（以下に定義する）から本社債の額面金額相当額を差し引いた額（正の数値である場合に限る）を１株当たり平均VWAP（以下に定義する）で除して得られる数の当社普通株式
（但し、１株未満の端数は切り捨て、現金による調整は行わない）

・転換価値：（本社債の額面金額÷最終日転換価額）×１株当たり平均VWAP

・１株当たり平均VWAP：当社が取得通知をした日の翌日から５取引日目の日に始まる20連続取引日（2026年10月８日～2026年11月６日）に含まれる各取引日において株式会社東京証券取引所が発表する当社普通株式の売買高加重平均価格の平均値

・最終日転換価額：上記１株当たり平均VWAPの計算期間の最終日（2026年11月６日）の転換価額

・取引日：株式会社東京証券取引所が開設されている日をいい、終値（以下に定義する）が発表されない日を含まない。

・終値：株式会社東京証券取引所における一定の日の当社普通株式の普通取引の終値

(6) 消却期日

2026年12月９日

５．その他

（１）生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当連結会計年度における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	36,772	+25.8
平面研磨装置関連事業	16,855	△9.7
電気機器関連事業	7,094	+46.4
合計	60,722	+15.1

（注）１　セグメント間取引については、相殺消去しております。
２　金額は、販売価格で表示しております。
３　電気機器関連事業の生産高は、当該事業のみなし取得日を2024年12月31日としているため、前連結会計年度において、第２乃至第４四半期累計９ヵ月（2025年１月１日～2025年９月30日）の業績を反映しております。

②受注実績

当連結会計年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	44,929	+23.2	12,636	+27.7
平面研磨装置関連事業	29,094	+58.7	29,792	+11.8
電気機器関連事業	6,830	△4.7	2,358	△2.8
合計	80,854	+30.5	44,786	+15.0

（注）１　セグメント間取引については、相殺消去しております。
２　電気機器関連事業の受注高は、当該事業のみなし取得日を2024年12月31日としているため、前連結会計年度において、第２乃至第４四半期累計９ヵ月（2025年１月１日～2025年９月30日）の業績を反映しております。

③販売実績

当連結会計年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	42,189	+24.0
平面研磨装置関連事業	25,941	+13.2
電気機器関連事業	6,897	+45.4
合計	75,028	+21.6

（注）１　セグメント間取引については、相殺消去しております。
２　電気機器関連事業の販売高は、当該事業のみなし取得日を2024年12月31日としているため、前連結会計年度において、第２乃至第４四半期累計９ヵ月（2025年１月１日～2025年９月30日）の業績を反映しております。

（２）地域別販売状況

（単位：百万円）

	日本	アジア パシフィック	米州	その他	計	調整額	連結損益計算書計上額（注）
売上高							
外部顧客への売上高	30,725	35,481	6,616	2,205	75,028	―	75,028
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,457	2,191	41	59	5,750	△5,750	―
計	34,183	37,672	6,657	2,265	80,779	△5,750	75,028
セグメント利益	6,262	6,196	513	275	13,247	△28	13,219

（注）　セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。